

岩手県宮古市内の仮設住宅集会所で、「太巻き祭りずし作り方教室」を行いました。

米穀機構では、東日本大震災の被災地を食生活の面から支援させて頂く各種取組を行っており、その一環として、本年度も引き続き、千葉伝統郷土料理研究会の協力を得て、仮設住宅に居住されている方を対象に、作って楽しい 食べておいしい「太巻き祭りずし作り方教室」を開催することとしています。今回は、以下のとおり岩手県で開催しました。

1. 開催日時 平成26年5月22日(木) 午前の部 9:30~11:40
午後の部 12:30~14:40

2. 開催場所 午前の部 宮古市赤前仮設住宅集会所
午後の部 宮古市第二中学校仮設住宅集会所

3. 協働者 宮古市生活復興支援センター

4. 指導 千葉県伝統郷土料理研究会 (講師5名)

5. 参加者 老若男女26名

6. 作った文様

桃の花



バラの花



このほか、「椿の花」「あげ羽蝶」「四海巻き」「パンダ」を講師が実際に作るパフォーマンスを実施。

7. 開催概要

午前と午後で2か所の仮設住宅集会所で作り方教室を開催しました。

まず、参加者全員で、講師による「桃の花」、「バラの花」のデモンストレーションの見学をしたのち、各テーブルに分かれ、講師の指導のもと、一人一本ずつ「桃の花」ないしは「バラの花」を作りました。出来上がった太巻き一本は半分に切って、違う文様を作ったグループと交換して、全員で楽しく、なごやかに会食をしました。講師が個々人にあつた指導を行ったこともあり、「自分ではできないと思っていたが、上手にできて、うれしい」、「週末に運動会があるから早速作ってみる」などの感想がありました。

興味を持った方が他の文様にもチャレンジできるよう「太巻き祭りずし作り方の本」を集会所に寄贈するとともに、日常の生活の中でもこの太巻き祭りずしを取り入れて頂くため、参加者全員に太巻き祭りずし特製まきすを差し上げました。